



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 3月号 (No. 20)

令和3年3月5日発行

みんなで SNOW パラダイス!



～スレッド・ライダー 縦横無尽!～



2月26日(金)にみんなで糸魚川シーサイドバレースキー場に「雪遊び」学習に行ってきました。昨年のこの時季は小雪のために積雪が無く、残念ながら中止となってしまったのですが、今年は雪と天候に恵まれて、予定どおりに実施することができました。子どもたちは「雪遊び」に向けて、校地内でもそり滑りを楽しんだり雪玉を作って遊んだりして期待感を膨らませてきました。

さて、スキー場での「ひすいっ子」、着くやいなやそりを持って雪の上へ。滑る気満々の様子でした。中には雪のあんばいを確かめるために、一口、味見をした子がいたとか、いないとか。それぞれの喜びの表し方がありました。

滑り始めは怪我の防止のために、職員と一緒に滑ったり安全確認の合図でスタートしたりしていたのですが、子どもたちはすぐに「そり滑り」のコツをつかみ、職員の見守りの中で、一人で、みんなで、スピードを上げて滑走するようになりました。広いゲレンデは子どもたちの心と体を解放し、そこでしか味わえない楽しく貴重な時間を過ごしました。

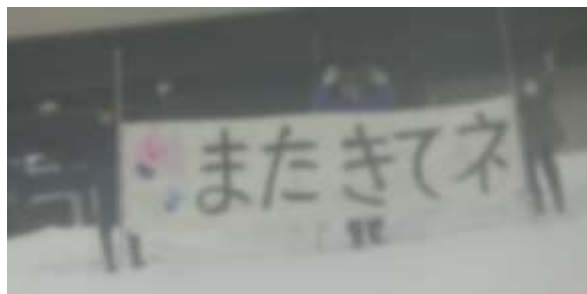
手作りひな人形



ところで、スキー場の行き帰りの途中で、「ひすいっ子応援団」に遭遇しました。恒例となっている“手作りの大横断幕” 小学部の塩谷さんのご家族が、自作で用意してくださったものです。行きは、クマのイラスト入りで色文字の「ひすいっこ」、帰りは、ウサギのイラスト入りでカタカナのアクセントを付けた「またきてネ」。子どもたちに手を振って、元気のパワーを送っていただきました。

車窓から、この横断幕を見つけた子どもたちは大喜びでした。楽しく充実した「雪遊び」学習となったことは言うまでもありません。

ここまでしてくださる熱意に、子どもたちも職員も感謝・感激です。



ありがとう！「雪かきボランティア」



1月の大雪で降り積もった雪が減ってほっとしていたところに、2月17日、18日と再び冬将軍がやってきました。今年の雪は、短期間に集中して降るのが特長のようなのですが、先月も50cmを超える積雪となりました。そのため、子どもたちの通路が通りにくかったり送迎用の駐車場に車を止めにくかったりするなどの状況となりました。そんなとき、学校職員に協力して、雪かきのボランティアをしてくださった複数の保護者の方がいました。子どもたちのために、お力添えをいただいたことに感謝いたします。

命を守る行動をとる！

3月1日（月）の全校朝会では、10年前の平成23年3月11日の「東日本大震災」の話をしました。地震及び津波等が原因となって2万2千人に及ぶ尊い命が失われ、多くの建物などに被害があったこと、新潟県でも「中越地震」という大きな地震があって、規模は違うものの同様の被害があったことを紹介しました。そして、糸魚川市でも自然災害が起こる可能性があり、そこでは一人一人が命を守る行動をとることが大切なことを確認しました。



糸魚川市で自然災害が発生したらどうしますか。



地震・津波・台風などの災害では



気を付けたい「行動」



「丈夫な机の下に入る」「防災無線を聞く」「避難所を確認しておく」などの災害時の対応や、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の行動様式等について、機会を捉えて子どもたちに繰り返し指導していきます。